



上之坊だより

令和6年10月19日
第103号
福山市大門町大門325
電話 (084) 941-1031
fax (084) 941-1168

お大師様は「自分が正しいと
それぞれが主張するあまり、人
が言うことをまちがいであると
けなしてしまう」と言われて、
自戒を勧めています。

人の心は今も昔もあまり変つ
てはいないようです。

むしろ、民主主義の今の方が
自由に意見が言えて良いのです
が、自分の意見を通そうとして
相手を否定したり、レッテルを
貼つて、理解する事を拒絶する
ことがあります。

弘法大師聖語抄
のおの われ せ い し せい ご しょう
ぼう だい し せい ご しょう
谷々 我は是なりと謂い
なら か ひ い
並びに彼れは非なりと言ふ
ひ い

私たちには昔から品格を重んじ和を尊んできました。聖徳太子の「和をもつて貴（どうと）しとす」は有名な言葉です。

お大師さまは、独断をせず、人の意見にも耳を傾けなさいと説かれています。自分の考えにない、新しい気づきがあるかもしけません。思い込みを捨て周りを見渡してみると、普段は聞こえなかつた人の思いや自然の音が聞こえるようになるかもしれません。

で、二十四番から土佐を中心にお申込みを承ります。団費は五万三千円をお願いします。

残り二名の参加が可能ですが、ご希望の方はご連絡をお願いします。

なお、来春の愛媛のお参りは、三月のお彼岸の後の三月二十五日ころの出発を考えております。

ご案内は一月中旬発行予定の上之坊便りをご覧ください。人数は二十名、二十名程度といたします。

醍醐寺（だいごじ）は真言宗の十八本山にもなっています。京都で現存する一番古い建物もこの醍醐寺の五重の塔であり、大金堂他数々の建物や塔頭寺院が集まっているのが下醍醐 三宝院（さんぼういん）です。

また、上（かみ）醍醐寺と呼ばれる場所もそこから山道を二時間弱でお参りできますが、そこが西国三十三観音靈場の十一番札所になっています。

ここを建てたのが聖宝（しょうぼう）理源（りげん）大師で、四十五歳（八七六年）の時のことです。

聖宝が歩んだ修行の道は三十才台からは二つあって、一つは真言の行法であり、もう一つが山林に入つての修験（しゅげん）の修行がありました。

真言の教えは、高野山第二世での弘法大師の甥にあたる真然（しんぜん）大徳に両部の大法を受け、山は奈良吉野で役小角（えんのおずぬ）が建立したとされる金峰山に入り、觀音様を信仰しながら修験道の山伏となります。

現在各地で行われている柴燈護摩（さいとうごま）は

この場所は戦後まもなく農地解放で、お寺のままでは没収されるのを防ぐため、住職個人名義の田畠に変更していた土地です。

前回の総代会で、将来お寺の境内地にできるようにするために参道や野外の護摩壇をつくり、観音様や石灯籠などを配置します。そして境内地となれば名義を変更し、上之坊の土地に戻します。

代わりに、お寺の北に隣接する田畠については、住職の個人名義であれば（お寺の負担にしないため）購入を検討することが前回の総代会で認められました。

土地は市街化調整区域で使途が限られており、現在購入できない状況

四国八十八ヶ所巡り

真言宗の基礎知識（その五十一）

晋山立まであと二年

より
だより
坊之

庭儀大護摩供奉修

寺前広場の整備が順調にすすんでおり、第一期の造成が間もなく完成となります。

これを記念して、第一回目となる大護摩供を開催いたします。

期日は今年十二月二十八日（土曜日）で時刻は一時半開始といたします。

お導師を尾道市 北之坊

藤原達祐僧正（真言宗醍醐

派）にお願いして、柴灯護摩（さいとうごま）の作法の出来る僧侶をお呼びして実施します。

詳細は次回上之坊だよりにてご案内いたしますが、近隣のお寺では行われていない儀式ですでのお参りをお勧めいたします。

土砂加持法要のご案内

七月お施餓鬼施食供養者

毎年恒例の土砂加持法要を十一月九日土曜日午後一時半より開筵いたします。

今年は以前の形式に戻し、感染症に気をつけて実施をいたしますので、ご協力をよろしくお願ひします。

お参りの方の人数制限はいたしません。会場の広さを昨年同様に広く取つて対応をいたしますが、マスクの着用はご自由といたします。

当日は午後一時半より法話、二時よりとうば供養があり、引き続き土砂加持のお勤めを四時前まで予定しております。

なお、法要で「板とうば」をつくり、お墓に建てたい方はお申し込みください。供養料を含めて三千円となります。

また、お墓に塔婆を建てにくい方は紙の塔婆をつくり供養を行います。供養料は千五百円です。

加持したお土砂をご希望の方は法要終了後にお分け致しますのでお残り願います。板とうば申込みの方には無料でお分け致します。またお土砂のみご希望の方には三百円のお賽錢をご用意下さい。

板とうばや供養のお申込みは別紙にてお申込み下さい。当日参加できない場合は後日の受け取りでも結構です。

なお、明年の年忌名簿については、本堂正面に土砂加持の日より掲示をいたします。

どうぞ、先祖供養をご希望の方はお参りいただきますようにご案内申し上げます。